

教科	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	2
学科	全科	学年	3 学年	履修区分	必修
使用教科書	最新家庭基礎 生活を科学する (教育図書)				
副教材など	2016 生活学Navi 資料+成分表 家庭 (実教出版)				

### 1. 科目の目的

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

### 2. 授業の内容と進め方

家庭生活に関する各分野について、次の流れで学習を進めます。

- ①各分野に関する項目について、まず現在の自分の生活を見つめます。
- ②それぞれの分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得します。
- ③自分の現在・将来をよりよくするためにはどうすればよいのかを考えます。
- ④実験・実習を取り入れ、より確実な知識及び技術の定着を目指します。

### 3. 学習する上での留意点

家庭に関する諸問題について関心を持って学習に取り組んでください。家庭生活の各分野に関する基礎的・基本的な技術を意欲的に身に付けましょう。さらに、問題の解決を目指して思考を深め、創意工夫する態度を養いましょう。最終的には各自が習得した知識と技術を活用して適切に判断し、それぞれの家庭で実践するよう心がけてください。

### 4. 課題等について

必要に応じて課します。

### 5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評 価 規 準
関心・意欲・態度	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けているか。
思考・判断・表現	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けているか。
技 能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けているか。
知 識 ・ 理 解	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか。

### 6. 評価の方法

評価については、以下の項目を総合的に判断する。

- ・ 定期考査 (年間 3 回) の結果をもとに学習内容の理解度、定着度を評価。
- ・ 実習への取り組みと作品および実施記録の内容・提出状況を評価。
- ・ 授業プリントの提出および記入状況を評価。
- ・ 学習意欲 (出席状況・忘れ物・発表内容など)、学習態度を評価。

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	「家庭基礎」を学ぶにあたって 第1章 人の一生と家族・福祉 ①人の一生と青年期 1. 人の一生とは 2. 青年期の課題とは	○家庭基礎で何を学び、どのような学習活動をしていくのかを知る。 ○各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ○生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つける。	定期考査 ワークシート 実習作品 実習記録 VTR視聴記録 ファイル提出 および授業中の取り組み状況等をもって総合的に評価する
	5	第2章 生活の自立のために ②衣生活 1. 衣服の機能を考える 2. 衣服材料を知る 3. 衣服計画を立てる 4. 衣生活と環境 (被服製作<エプロン・基礎縫>)	○被服のさまざまな役割を整理する。 ○被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い絵表示・サイズ表示などの意味が分かる。 ○汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知る。 ○生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるようになる。 ○布を使った生活の工夫を知る。	
	6	①食生活 1. 食生活の現状と課題 2. 栄養素と食品 3. 食品の選択と取扱い	○日常の食生活を振り返る。 ○日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解する。 ○日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめる。	
	7	4. 食中毒と食品の安全 5. 食品の保存 6. 献立と調理 (調理実習①②) 期末考査	○食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学ぶ。 ○青年期の食事の重要性を理解し、各ライフステージの栄養的特徴を知る。 ○基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようになる。 ○生涯を通じて健康で安全な食生活が営めるようになる。	
	9	第1章 人の一生と家族・福祉 ③高齢期の生活 1. 高齢期について学習する 2. 高齢期の特徴 3. 高齢社会の現状 (調理実習③)	○高齢社会の現状と課題を理解する。 ○高齢期の心身の変化や特徴、個人差を理解する。 ○高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。	
	10	②子育てを学ぶ 1. 親の役割 2. 子どもの成長のようすと生活 3. 子ども・子育ての環境	○子どもの育つ力と発達段階を知る。 ○人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを学ぶ。 ○遊び、基本的な生活習慣、食事、健康管理について学ぶ。 ○子どもを取りまく社会変化の現状について理解し、考える。	
	11	④生活を支える仕組み 2. 子育てを支える仕組み 3. 高齢期の生活を支える仕組み	○一生を通した福祉や社会的支援の必要性を知る。 ○多様な人のニーズ、ノーマライゼーションの理念を理解しユニバーサルデザインについて考える。	
二 学 期	12	4. 共生社会の実現に向けて 期末考査 第2章 生活の自立のために 6. 献立と調理 (調理実習④)	○基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようになる。	
	1	第3章 経済的に自立する ①消費生活 2. 自立した消費者になるために 6. これからの消費生活と環境 人生を設計してみよう 期末考査	○消費行動における自分の意思決定の重要性を理解する。 ○キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、契約や消費者信用等を学習し消費者として適切な判断ができるようにする。 ○大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生活ができるようにする。 ○今までの学習を踏まえ、キャリアの視点から障害の生活設計に必要な要素をまとめる。	
三 学 期				